http://joonji.jp

真宗大谷派
浄恩寺

浄恩寺　雅楽葬　検索

平成３０年　１２月　　第４１１号

浄恩寺同朋会報

電話　０５２－８８１－８４７４

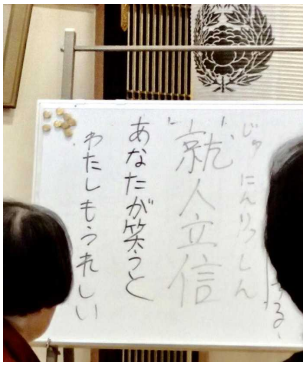
「報恩講」お勤め致しました

約四十名ほどの方々に参拝していただきました。

「御俗姓」、親鸞聖人の歩みと報恩講の意義を蓮如上人が綴られた長文の御文を拝読し、午後のお勤めで、「如来大悲の恩徳」の和讃を拝読すると、報恩講をお勤めしたという実感が湧きます。

そして「法話」荒山　優さんのお話は、ご自身が身をもって感じられた話題が中心でした。自身の経験や想いを親鸞聖人の教えと結びつけ、わかりやすく語って、みえるので、自然に共感がわき、皆さんの表情も穏やかになってみえました。

優さんは、大谷大学の学生時代、尊敬する先生から真宗の教えは・・・「あなたが笑うと、わたしもうれしい」という言葉に表現されていると学ばれたそうです。



また、ご自身が主催された座談会、テーマ「私を支える一言」で男性参加者が語られた言葉が印象に残り、心に感じ入りました。

リストラ、アルコール依存、生活の乱れ、孤独・・・

人生に絶望した男性、自死を踏みとどまれた一言・・・

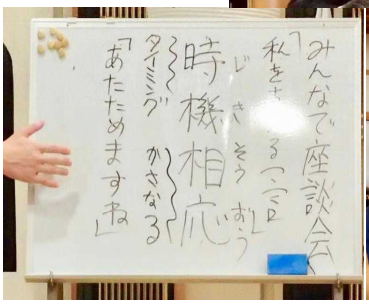
「あたためられますね」

男性が日常的に通うコンビニのお姉さんの一言・・・自死を決めた男性が選んだ最期の食事、いつもの「のり弁」をレジに運ぶと、いつも暖めることを覚えてくれていたお姉さんの言葉が「あたためますね」でした。

自分は独りではなかったことをさとしてくれ、よろこびや生きる力をあたえてくれた一言だったそうです。

何気ない一言が、その時・・・人を救うこともある。

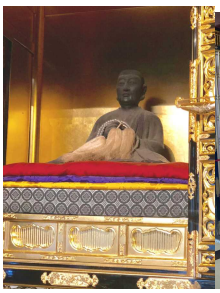
「時期相応」の教えでした。

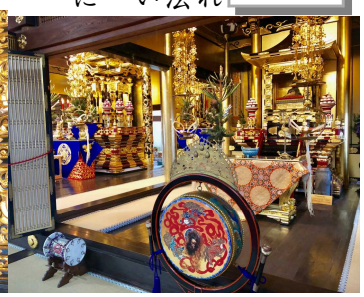


親鸞聖人七百五十回御遠忌法要　中川区万場「光圓寺様」

十一月三日四日、大法要が勤められました。三日は鞨鼓、四日は龍笛と法要で演奏させていただきました。

このお寺には他にはない「三重の塔」や「蓮如上人像」が建立されており、とても興味深く印象に残りました。四日は雨でしたが、稚児も多数参加された立派なほうようでした。





平成３１年の年忌一覧

１周忌・・・	平成３０年亡
３回忌・・・	平成２９年亡
７回忌・・・	平成２５年亡
１３回忌・・	平成１９年亡
１７回忌・・	平成１５年亡
２３回忌・・	平成９年亡
２７回忌・・	平成５年亡
３３回忌・・	昭和６２年亡
３７回忌・・	昭和５８年亡
４３回忌・・	昭和５２年亡
４７回忌・・	昭和４８年亡
５０回忌・・	昭和４５年亡

※ご法事のご予定は、お早めにお願い申し上げます。